



Obihiro Aoi Gakuen Information

学校法人 帯広葵学園

学園通信

◆2020年(令和2年)10月20日発行

◆Vol.39

幼保一元教育・保育の具現化を必須とする今の時代を受けて、帯広葵学園にその役割をあたえてくれた音更町には心から感謝しています。

翌日から保育園のこと、民営化に求められる内容等々についての情報収集に奔走し、できるだけ細部に渡って検討することになります。そして出した結論は、帯広葵学園が積み重ねてきた未就学児教育に対する「通信簿」をもらいつつもりで応募することを決めたのでした。

しかし、音更町には有力な社会福祉法人や学校法人があります。隣町とはいえ帯広市にある帯広葵学園の出る幕は小さいと考えるのも当然のことです。遠い昔の夢が、遅咲きとは言え咲くかも知れない可能性があるのでした。

平成26年6月21日のことです。その日の十勝毎日新聞をめぐっていると、『緑陽台保育園を民営化』とする見出しが目にとまります。音更町が保育園の運営法人を募集するという内容です。保育園の民間委託はどうせ社会福祉法人に限定されると思いながら読み始めると、何と「学校法人」も対象になると書いてあるではありませんか。私的な目標とは言え、「40歳で混合保育園を経営する」を夢見たことがあったのです。ひょっとしたら、30年遅れではあるがその夢が実現できるかも知れない、そう思うのは当然です。

平成27年4月1日は、帯広葵学園にとって緊張の中にも記念すべき日です。すでに「012青い鳥保育園」については第38号で明らかにしていますが、もう一つ忘れてはならない「緑陽台保育園」のことを記録に残さなければなりません。なぜならば、あの日あの記事を見落としていたら、帯広葵学園が音更町で仕事をする事はなかったのですから。

学校法人帯広葵学園
理事長 上野敏郎

保育園事業に着手

212

故きを温ねて、新しきを知る
〜葵学園のあしあと〜

(平成26年6月21日 十勝毎日新聞)

十勝毎日新聞

緑陽台保育園を民営化

音更町
来年度 運営法人公募へ

【音更】町は、町立の緑陽台保育園(町緑陽台仲区、定員120人)を来年度、民営化する。25日から公募型プロポーザル方式で運営法人を募集する。民営化は緑陽台で4カ所目。町は、民営化で町財政の健全化を図るとともに、特色ある保育の実施を目指していく。

緑陽台保育園には20日現在104人の園児が在籍。敷地は3850平方メートル、建物は1980年に完成した鉄筋作り平屋約790平方メートル。運営法人に対して土地は無償貸与、建物は無償で譲渡される予定。

公募型プロポーザルは、社会福祉法人が学校法人が対象。8月ころにも審査を行い、9月までに決定する見通し。

町は、2003年度に木野南、06年度玉来、07年度鈴蘭の各保育園を民営化。緑陽台の民営化後は、音更、木野北、柳町、駒場の4保育園が公設公営の保育園として残る。町は05年、財政健全化の一環として、国保診療所、サイクリングターミナル、町営保育園の民営化の方針を打ち出している。



公募型プロポーザルで運営法人を募集する緑陽台保育園

(井上朋一)

町は「子供たちのために民間の独自性を発揮できるような法人に応募してもらえば」「子ども福祉課」として、公募型プロポーザルの問い合わせは、同課(0155・42・2111)へ。



学校法人 帯広葵学園

〒080-0022

帯広市西12条南17丁目3 難波ビル2F

TEL 0155-23-7604 / FAX 0155-67-5778

URL <http://www.obihiraaoi.ed.jp>

帯広の森幼稚園



つつじが丘幼稚園



緑陽台認定こども園



012 青い鳥保育園



柳町保育園



012 おびもり



あおいキッズランド



あおいキッズハウス



あおいとり



東土狩保育所・南中保育所・西中保育所